

香川高等専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授業科目	芸術（書道）
科目基礎情報				
科目番号	1114	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子システム工学科（2019年度以降入学者）	対象学年	1	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	高木聖雨他著「書Ⅰ」　光村図書			
担当教員	正田 幸子			
到達目標				
書の表現と鑑賞の基礎能力を育てるとともに、古典の臨書と創作を通して、芸術としての書の美を学ばせ、書を愛好する心情を養う。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1 書の基本形を把握する	書の基本形を把握できる。	書の基本形をある程度把握できる。	書の基本形を把握できていない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	国語科書写では、文字を正しく整えて書くことを目標としたが、芸術科書道では、書写の能力をさらに高め、書の美を追求していくことを目指す。			
授業の進め方・方法	表現の学習では、実技を通して臨書と創作をする。 表現力を高め豊かにするには、すぐれた書を鑑賞し感性を養うことを心がけるようにする			
注意点	毎時間、清書作品を提出させ、学習到達度評価を行うとともに、授業態度等も加味した総合評価を行う			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1週	書の美を求めて	書の美とは何かを考えさせる A3:1	
	2週	楷書の学習の基本	楷書の基本 筆づかいを把握する B2:1	
	3週	唐代の厳正な楷書 九成宮醴泉銘の鑑賞・臨書	古典の臨書を通して用筆・運筆 点画の形、線質など表現技法を学習する B1:1	
	4週	唐代の温雅な楷書 孔子廟堂碑の鑑賞・臨書	古典の臨書を通して用筆・運筆 背景と向勢を習得する B1:1	
	5週	唐代の重厚な楷書 頤氏廟碑の鑑賞・臨書	古典の臨書を通して用筆・運筆 背景と向勢を習得する B1:1	
	6週	唐代の軽快な楷書 雁塔聖教序の鑑賞・臨書	古典の臨書を通して用筆・運筆 背景と向勢を習得する B1:1	
	7週	北魏の楷書、方勢 牛橛造像記の鑑賞・臨書	古典の臨書を通して用筆・運筆 B1:1	
	8週	北魏の楷書、方勢 鄭羲下碑の鑑賞・臨書	古典の臨書を通して用筆・運筆 背景と向勢を習得する B1:1	
2ndQ	9週	行書の特徴	行書の基本 筆づかいを把握する 背景と向勢を習得する B2:1	
	10週	蘭亭序の鑑賞・臨書①	古典の臨書を通して用筆・直筆 点画の形、線質、写形など表現技法を学習する B1:1	
	11週	蘭亭序の鑑賞・臨書②	古典の臨書を通して用筆・直筆 点画の形、線質、写形など表現技法を学習する B1:1	
	12週	蘭亭序の鑑賞・臨書③	古典の臨書を通して用筆・直筆 点画の形、線質、写形など表現技法を学習する B1:1	
	13週	蘭亭序の鑑賞・臨書④	古典の臨書を通して用筆・直筆 点画の形、線質、写形など表現技法を学習する B1:1	
	14週	篆刻 姓名印を刻る①	姓名印と文字の配列 印稿作成 A3:1	
	15週	篆刻 姓名印を刻る②	布字、運刀、補刀 A3:1	
	16週	篆刻 姓名印を刻る③	自書自刻し自分だけの印を完成、押印 A3:1	
後期	1週	隸書の学習 ① 曹全碑の鑑賞・臨書	隸書を通して用筆・運筆・点画の形 線質、字形など表現技法を学習する B1:1	
	2週	隸書の学習 ② 藏峰、波磔	隸書を通して用筆・運筆・点画の形 線質、字形など表現技法を学習する B1:1	
	3週	草書の学習 書譜の鑑賞・臨書	隸書を通して用筆・運筆・点画の形 線質、字形など表現技法を学習する B1:1	
	4週	日本の行書の学習 風信帖の鑑賞・臨書	隸書を通して用筆・運筆・点画の形 線質、字形など表現技法を学習する B1:1	
	5週	三筆・三蹟の行書	隸書を通して用筆・運筆・点画の形 線質、字形など表現技法を学習する B1:1	
	6週	争坐位稿の鑑賞・臨書	隸書を通して用筆・運筆・点画の形 線質、字形など表現技法を学習する B1:1	
	7週	篆書の学習 泰山刻石の鑑賞と臨書	隸書を通して用筆・運筆・点画の形 線質、字形など表現技法を学習する B1:1	

	8週	平仮名の単体 仮名の成立と発達	いろは歌より基本的なものを身につける B2:1
4thQ	9週	変体仮名と連綿	芸術としての仮名の書を学習する B2:1
	10週	蓬莱切の鑑賞と臨書	連綿や墨つぎなど変化と調和を学習する B2:1
	11週	漢字仮名交じりの書の学習 ①	自分で選んだ言葉のイメージ化 A1:3
	12週	漢字仮名交じりの書の学習 ②	用筆・運筆の工夫し作品の具体化 A1:3
	13週	漢字仮名交じりの書の学習 ③	古名跡を応用して表現 A1:3
	14週	漢字仮名交じりの書の学習 ④	全体構成の工夫 文字の大きさ、句割、余白など A1:3
	15週	漢字仮名交じりの書の学習 ⑤	全体構成の工夫 文字の大きさ、句割、余白など A1:3
	16週	押印、作品鑑賞 ⑥	自己評価レポート作成 A1:3

モデルカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0